

宅地防災マニュアルの解説〔第二次改訂版〕(H19/12/5) 新旧比較表 (概要書)

(株) S I Pシステム 技術サービス (H19/12)

旧頁	〔改訂版〕宅地防災マニュアルの解説 (H10/5/15 初版発行の H10/11/20 再版発行)	新頁	〔第二次改訂版〕宅地防災マニュアルの解説 (H19/12/5 初版発行)	備考
	共通事項 1) 単位を「重量 ton」で表示。例：4kgf/m <sup>2</sup>		共通事項 1) 単位を「重量 ton」と「N単位」を併記。 例：4kgf/m <sup>2</sup> (400KN/m <sup>2</sup> )	
5	(本文編) .総説	1	(本文編) I 総説	
5	.2 対象範囲	1	.2 対象範囲 ：「滑動崩落防止対策」に関する記事を追記。	
12	.3 盛土のり面の安定計算の検討 4) 最小安全率	8	.3 盛土のり面の安定計算の検討 4) 最小安全率 ：大地震時の安定計算に必要な水平震度は、0.25 に建築基準施行令第 88 条項第 1 項に規定する Z を乗じると追記。	
		8- 9	.5 盛土全体の安定性の検討 ：記事全文追記。	
13	.5 盛土の施工上の留意点 4) 敷均し	11	.6 盛土の施工上の留意点 4) 敷均し ：敷均し厚さ（まき出し厚さ）をおおむね 0.3m 以下と追記。	
		11	.7 地下水排除工 ：記事全文追加。	
26	.6.10 軟弱地盤上の盛土端部の安全率 常時においては、盛土施工直後において F <sub>s</sub> 1.2 と記載。	22	.6.10 軟弱地盤上の盛土端部の安全率 ：常時の安全性を確保する・・最小安全率は、大地震時に F <sub>s</sub> 1.0 とすることを標準とする。と記載 (1.2 は削除された)	
		39- 43	XV 滑動崩落防止対策 ：全文記事追加	
45	(解説編) I .総説	47	(解説編) I .総説	
46	.2.対象範囲	48	.2.対象範囲 ：解説の項目で③宅地造成等規正法第 20 条・・の分を追記。	

47-48	.4.関連指針等	49	全文削除された。
73	IV章 耐震設計	81	IV章 耐震設計
76	4.開発事業における耐震対策の基本的考え方	82	3.開発事業における耐震対策の基本的考え方 ：上から 24 行目、平成 18 年 3 月に改正された・・・以後の文章を追記。
79	参考資料 4.1 宅地造成工事の流れと耐震設計	88	参考資料 4.2 宅地造成工事の流れと耐震設計 ：フローチャートを変更(作業内容を追加)
82	2.耐震設計の一般的手順	91	2.耐震設計の一般的手順 ：フローチャートを変更（一部改訂）
83	4.設計震度 ： $K_h = \alpha_1 \cdot \alpha_2 \cdot \alpha_3 \cdot k_0$	92-94	4.設計地震動 ：全面改定 $K_h = C_z \cdot k_0$ へ変更 $C_z$ = 地域別補正係数（建築基準 88 条 1 項の Z 値）とした。 $k_0$ = 中規模 0.2、大規模 2.5（変更無し）
119	.3.盛土のり面の安定計算の検討 4) 最小安全率	130	.3 盛土のり面の安定計算の検討 4) 最小安全率 ：大地震時の安定計算に必要な水平震度は、0.25 に建築基準施行令第 88 条項第 1 項に規定する Z を乗じると追記。
120	「解説」 1 安定計算	131	「解説」 1 安定計算 ：フローチャートを変更（一部改訂）
123	5.地震時の安定性の検討 ： <有効応力法邦による場合>および<全応力法による場合>の式	134	5.地震時の安定性の検討 ： <有効応力法邦による場合>および<全応力法による場合>の式が変更（分子に+P・r'を考慮）
123	3.間げき水圧	136-137	3.間げき水圧 ：上から 3 行目、盛土下部に液状化のおそれ・・・以後の文章を追記。

123	4.最小安全率 ：常時の盛土の安定計算に用いる・・Fs 1.2 とすることができる。	137	4.最小安全率 ：Fs 1.2 の表示行を削除。	
		149- 154	.5.盛土全体の安定性の検討 ：全文追記。 ・「谷埋め型大型規模盛土造成地」および「腹付け型大規模盛土造成地」の場合、盛土全体の安定性を検討すると記載。	
143	表VI.5-1 用途ごとの盛土材の要求品質（参考）		削除された	
344	4.敷均し ：まき出し厚さは30cm～50cm程度が一般的である。	162	4.敷均し ：(1) 敷均し厚さ ・まき出し厚さはおおむね0.3m以下とすると記載。 (2) 高まき施行（追記） (3) 降雨・降霜対策（追記）	
144	5.含有量調節及び安定処理	162- 163	5.含有量調節及び安定処理 ：全文見直し改訂。（項目の整理解説の追記）	
145- 148	6.締固め	164- 185	6.締固め ：全文見直し改訂（項目の整理解説の追記）	
		201- 219	.7.地下水排除工 ：新規記事追加	
255	.擁壁	293	.擁壁	
259	参考 8.3 建設大臣認定擁壁 ：宅地造成・・施行令第15条	296	参考 8.3 国土交通省大臣認定擁壁 ：宅地造成・・施行令第14条に、またフローチャートを変更	
270	参考 8.5 擁壁の設計手順（例）		削除された	
271	1.設計条件の設定 ：(1) 外力の設定 表VIII.3-1 擁壁の設計に必要な土質調査と設計諸定数の例 の参考基準「道路土工・擁壁・カルバート・仮設構造物指針」	310	1.設計条件の設定 ：(1) 外力の設定 表VIII.3-1 擁壁の設計に必要な土質調査と設計諸定数の例 の参考基準「道路土工・擁壁工指針」（H11/3）と表記変更。	

278  279	: (4) 基礎地盤の許容応力度 (許容支持力度)  「建築基礎構造設計指針」の手法を記載	316-  318 319	: (4) 基礎地盤の許容応力度 (許容支持力度) 支持力計算において「国土交通省告示 1113 号において・・・」 の通達文の手法を追記。また、全文改訂。  (5) 宅地防災マニュアルの解説 P.318  本指針では許容支持力度の計算式が長期と短期の2つ記載されています。 1) 長期許容支持力度(常時) $q_s = 1/3 (i_c \cdot a \cdot c \cdot N_c + i_s \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot N_s + i_d \cdot \gamma_2 \cdot D_r \cdot N_d)$ 2) 短期許容支持力度(地震時) $q_s = 2/3 (i_c \cdot a \cdot c \cdot N_c + i_s \cdot \beta \cdot \gamma_1 \cdot B \cdot N_s + i_d \cdot \gamma_2 \cdot D_r \cdot N_d)$  2) 地盤の許容支持力を求める方法 ①支持力式による方法 平板載荷試験による方法 ③スウェーデン式サウンディングによる方法 について追加記載。	
280	2.照査のための検討事項 : (3) 大地震における検討 (表Ⅷ.3.-7 安全率 (Fs) 等のまとめ) 大地震時の部材応力の項目表示を「設計基準強度」と記載	321	2.照査のための検討事項 : (3) 大地震における検討 (表Ⅷ.3.-7 安全率 (Fs) 等のまとめ) 大地震時の部材応力の項目表示を「終局耐力」と表示変更 し、解説文を追記。 ※部材の終局耐力は、擁壁が構成されている材料に応じた終 局耐力とする。一般に鉄筋コンクリート部材については 「建築基礎構造設計指針」「鉄筋コンクリート構造計算基 準・同解説」に示される算定式により求めてよい。 としている。---曖昧表現	?
281- 282	: (3) 壁体の配筋 ③鉄筋のかぶり	322- 323	: (3) 壁体の配筋 ③鉄筋のかぶり プレキャスト鉄筋コンクリートの記事を追記。また、 表Ⅷ.3-9にプレキャストの「かぶりの厚さ」の項目を追加。	

286	: (2) 地盤支持力に対する検討 簡便な工事等の場合は、建築基準法・・93条の表によることができる。	328	: (2) 地盤支持力に対する検討 擁壁高さ5m程度以下の工事等の場合は、建築基準法・・93条の表によることができる。と記載
293	: (3) すべり面を変化させて土圧Pの最大値を算出する方法 $P_A = 1/2 \cdot K_A \cdot \quad \cdot H (H+2h)$ --式 3-14	336	: (3) すべり面を変化させて土圧Pの最大値を算出する方法 $P_A = 1/2 \cdot K_A \cdot \quad \cdot (H+h)^2$ --式 3-18に変更
296	4.地震時土圧 : (1) 試行くさび法における地震時土圧	339	4.地震時土圧 : (1) 試行くさび法における地震時土圧 裏込め土の粘着力を考慮する場合の主働土圧 ( $P_{EA}$ ) の公式 .3-22 を追記。 (2) 土圧公式による地震時土圧 本項目について式VIII-3.23 および 3.24 を追記。
		340	5.地震時における受働土圧 : 地震時における受働土圧の考え方、算出式VIII.3-25、3-26 を追記。

上記新旧比較表は、弊社比較調査により作成しております。比較内容に、誤字、脱字、誤り等ありましたらお手数ですがご連絡頂きましたら訂正させていただきます。